



HPSCでは、体力測定においても感染症対策の徹底を図っています。測定項目の特徴に応じて、留意すべき内容を検討し、対策を講じる必要があります。今回は、HPSCが実施している自転車エルゴメーターを用いたアネロビックパワー・アネロビックキャパシティ測定での対策実施例を紹介します。内容の細部詳細な点については、各施設の状況や環境にあわせて適宜調整、工夫をしてください。

### 使用機器

自転車エルゴメーター

### 注意すること

呼気・汗を浴びない工夫  


- ⇒ ゴム手袋・マスクを必ず着用する
- ⇒ パーテーションを使用する

換気の徹底  

- ⇒ 窓の開放やサーキュレーターを使用し常に換気ができる状態を保つ
- ⇒ 換気のできない部屋では実施しない

機器の消毒  

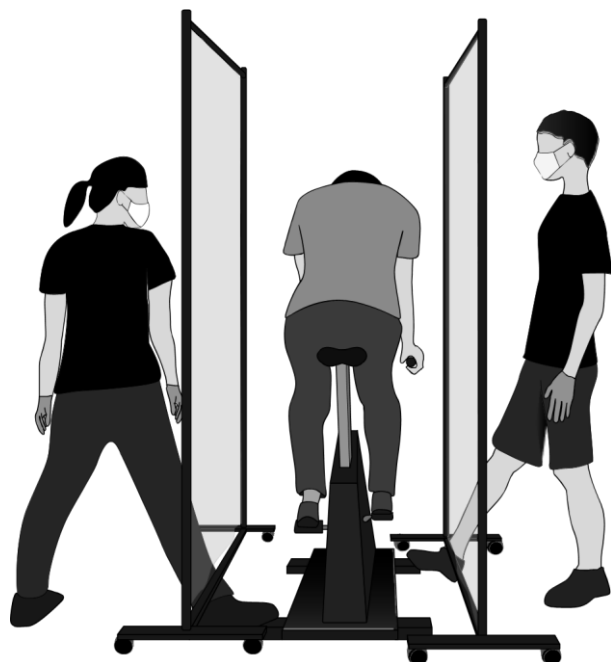
- ⇒ 選手毎に選手が触れた部分や飛沫（呼気や汗）付着部分を消毒する
- ⇒ 部品等によっては使用できない消毒液があるため、事前にメーカーなどに確認する  
※エタノールの場合は濃度70%～95%のものを使用
- ⇒ アルコール消毒ができない素材には予めラップを巻いておく  
※ハンドルのバーテープなど（合成皮革やコットン製等）

チェックリストの活用 

- ⇒ 感染者が発覚した際に濃厚接触者を追跡するために、選手ごとに測定者の行為等を記録し、一定期間保管する

### 機器の配置

- ✓ 選手と測定者の間にパーテーションを設置



- ✓ 測定者はサーキュレーターの風下に立たない

